

# 41年の 歴史に感謝を

昭和52年、旧岩倉中学校粟生地区・五郷中学校・城山中学校・八幡中学校楠本分校が統合し、創立した白馬中学校。41年間で983人の生徒が卒業した本校は、平成30年3月末をもって休校となりました。

これまで支えてくださった地域の皆さまには厚く御礼申し上げます。

3月25日(日)、地域の皆さまや卒業生に惜しまれながら、休校式を執り行いました。最後の卒業生となった3人の生徒は、春から高校生。新たな環境でも、白馬中学校が目指す生徒像である「活発に活動する生徒、進んで学ぶ生徒、思いやりのある生徒」の精神を引き継ぐことでしょう。



## 白馬中学校の歴史

- 昭和52年 清水町立白馬中学校として発足する(4月9日)。
- 昭和62年 第一回文化祭を開催する。
- 平成元年 和歌山県中学校総合体育大会でハンドボール部が優勝し、近畿大会に出場、ベスト8となる。
- 平成4年 全国保健体育優良校として表彰される。
- 平成12年 体育館を大改修し、校舎との渡り廊下を設置する。
- 平成17年 和歌山県中学校総合体育大会で剣道部男子個人が準優勝し、近畿大会・全国大会に出場する。
- 平成18年 旧清水町・金屋町・吉備町が合併し、有田川町が発足する。有田川町立白馬中学校となる。
- 平成19年 校舎本館を大規模補修する。
- 平成22年 校舎耐震補強・大規模改修工事を実施する。
- 平成27年 校区内の粟生小学校が休校となり、鳥屋城小学校に統合。
- 平成28年 白馬中学校の存続について、協議した結果、在校生の白馬中学校卒業と新入生の八幡中学校進学が決定する。
- 平成30年 休校式を挙げる(3月25日)。
- 白馬中学校が休校となり、八幡中学校に統合される。